

令和4年6月24日

# 二宮町教育委員会議録

( 定例会・臨時会 )

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 9時 30分
- 2 閉会時間 11時 30分
- 3 教育長名 森 英夫
- 4 署名委員 野谷 悦
- 5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	野谷 悦
○	教育委員	岡野 敏彦
○	教育委員	藤原 直彦
○	教育委員	渡辺 優子

- 6 出席者氏名
- |              |       |
|--------------|-------|
| 教育部長         | 椎野 文彦 |
| 教育総務課長       | 下條 博史 |
| 教育総務課長代理     | 田中 明夫 |
| 生涯学習課長代理     | 竹本 直昭 |
| 教育総務課指導班長    | 安藤 通晃 |
| 教育総務課教育総務班長  | 大木 健司 |
| 教育総務課教育総務班主査 | 添田 理代 |
- 7 傍聴者 3名
- 8 調製者 教育総務課教育総務班主査 添田 理代

## 1 開会宣言

(教育長) 令和4年度6月定例教育委員会議を開催します。

## 2 署名委員の氏名

野谷委員を指名する。

## 3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 6月政策会議結果報告を資料に基づいて行う。

(各課長・指導主事) 各課の事務報告・事業予定・研修内容について資料に基づいて説明する。

(藤原委員) 1点目は、制服について、分離型研究会で校長先生方が議論されていますが、工藤教諭が在籍していた麴町中学校はPTA主導でやっているという話があり、とても良いなと思っていました。やはり学校側から提案となると、保護者側がどう受けとめるのかという問題があります。PTAが親の総意を集めることは難しいことだとは思いますが、PTAが責任を持って、親の総意と生徒の総意を集める立場だということを実感するには、とても良い 이슈 だなと思っていました。これから小中一貫教育の施設一体型を考える時も議論を尽くしながら何かを決めていく、ということの一つの良い議題ではないかと思いますので、校長先生が決定する決め方があっても良いと思いますが、PTAをどう活用するのかを考えていただきたいと思います。

2点目が、6月15日小中一貫カリキュラムワーキンググループミーティングの音楽の授業の話が良いと思いました。その時に、指導主事の方からオンラインという視点を入らせてもらえるよう言っただけだと良いと思います。1つ目の理由は、オンラインだと著名な人を気軽に呼べるように、オンラインだからこそ入れられるインプットの幅が広がる可能性があります。2つ目の理由は、家でオンラインなら参加したい、という生徒がいると思います。

音楽は、 $2 + 3 = 5$ のように正解がないことが良いことです。芸術は、それぞれの子たちが好きに感じて、人によって感じ方が変わるということはとても良い教材だと思います。それぞれが自分の意見を言い、そういう感じ方もあるよね、という場になるようにしていただければと思いました。

シューベルトは中学1年生でもやるよ、と言ったときに、7年生でもやるよ、と言えるのはいつなのだろう、と思いました。どこかのタイミングで、7年生などが出ると思います。制度的にここからしか言えないこともあると思いますが、早められるようであれば、早めに9年間であることが出てくると良いと思います。

(教育総務課長代理) 制服についてのPTAの活用は、次回の準備委員会で共有させていただきます。

(教育総務課長) 生徒会も絡めていきたいと考えています。

(藤原委員) こういう課題は、生徒自身や生徒会も真剣に考えるものだと思います。

(指導班長) 今ベースにあるのが、受容的共感的な学級集団づくりで、その考えもいいよね、君の考えも素敵だね、と伝え合えるような集団です。音楽はまさに共有できる科目だと思いますので、いただいたご意見は、音楽以外の部会にも伝えていきます。

(野谷委員) 1点目は、6月8日の二宮小学校での環境出前講座では、生活環境課がテレビの戦隊もののような衣装を身につけて、業務多忙の中、意欲がとてつごいなと思いい、感動しました。

2点目は、議会の陳情は、どのような内容なのでしょうか。

3点目は、第2回二宮町議会定例会報告の野地議員からの公共施設再配置・町有地有効活用実施計画見直しについて、反映が難しい、と部長の答弁がありました。どのような内容なのでしょうか。

(教育部長) 2点目の陳情については、35人学級は、段階的な実施が決まっていますが、さらにもう一步踏み込んで、30人学級の早期の実現を進めていただきたいことと、教科担任制を進める上での教員数の増大は、避けて通れないため、推進して欲しいこと、今まで2分の1の補助だった補助金が、3分の1に下げられたため、元に戻してほしいこと、この3点の要望を町議会議員の方も賛同したので、国に意見書を提出する、という内容です。

野地議員の質問は、公共施設再配置の中でも新庁舎についての意見で、過去に教育委員会では、小中学校を集約していく方向の中で、どうするのかの確認です。今、教育委員会はそういう方向性にも向いてないですし、この計画自体の見直しが、今年度中に改定を行って来年度スタートするので、そのタイミングでは、まだ決めることはできないことを答弁しました。

(岡野委員) 6月7日の政策会議の令和5年度国・県の施策・予算に対する政党要望の中の学校教育の振興について、具体的な内容をお願いします。

(教育部長) 現状では、教員が子どもに対して、寄り添ったり、きめ細やかな授業がなかなか行き届かないので、専門性が高めていくには、教員増、定数を上げる要望をしてください、という内容です。

(岡野委員) 学校の教育の幅をもう少し広げていくために、例えば校外学習や総合学習に、お金がかかるところがあればそういうところも補助していただきたいという意味ではないということですか。

(教育部長) 新たな教育や課題に対する対応で、スクールサポートスタッフ、SSW、心理士などのサポートが必要だということです。

(教育総務班長) もう一つが、スクールサポートスタッフが令和元年からついていましたが、令和3年度までは学びの保障で、学習指導員がついていました。今年度は学習指導

員の予算が無くなってしまいましたので、必要に応じて改めて来年度もお願いする要望を入れてあります。

(岡野委員) 基本的には時限が決まっている予算配分を継続的にお願いしたい、ということですね。国の補助金は、スタート時は多くくれるけど、その後、金額が減らされるので、スタートの時に一気に波に乗せることがいろんな分野で、大事なんだろうなと感じました。

#### 4 付議事項

#### 5 報告・協議事項

(1) 令和4年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書(令和3年度事業分)について(教育総務課長) 令和4年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書(令和3年度事業分)について資料に基づいて説明。

(野谷委員) P31の教員の時間外勤務ですが、教育委員会として、学校閉庁日の設定、校務支援システム・勤怠管理システムの導入など、努力されていることは理解しています。しかし、達成目標が1ヶ月45時間、1年で360時間を超えないことを最低限目標としているにもかかわらず、実態として、小学校が年間435.6時間で全国平均より低いですが、中学校は月平均も年平均も上回っている状況の中で、目標と結果の関係からBとはいえない、と感じました。

(指導班長) 補足ですが、P28のICTに関する結果等は、全国学力・学習状況調査の結果を用いていますが、全国学テを実施した日が5月のため、令和3年5月時点での数値と捉えていただきます。令和3年4月は、1人1台が整って間もない時の数値ですので、その後活用が進んでいますので、令和4年4月を踏まえると、もう少し上がっていると考えられます。

(藤原委員) P28の使用率が小学校23%中学校68%で、実際に令和4年4月時点はもう少し使用されているのであれば、そのことを補記した上で評価をAにした方がいいのではないかと思います。また、先生によって、使用頻度が大きく違うのは、良くない気がします。週に5日使う人、全く使わない人がいる中での平均2.5日では見誤る気がします。全教員が週1になるのが目標かと思います。やはり使用しないと先生側も慣れないため、ちゃんと使用するよう言わないと駄目ではないかと思うからです。生徒の方も、タブレットでゲームばかりをやって、授業では使わないとなるとおかしいので、タブレットを積極的に授業に使っていくことをすべての先生に進めていただきたいと思います。

(岡野委員) 点検評価は、毎年ご苦労されつつも、年々早めに準備していただきありが

とうございます。一つ一つの数字というよりも、評価の仕方が大事で、年度当初に目標値を立て、その目標に対して、年度が終わったときにその達成度を考えることがとても大事です。BだったらAにするために何が必要か、年度当初にAを目標にしたけれども、今年はとても良くできたからA+にしたということがあってもいいと思います。そのために、第1四半期終わるこの時期に、今年やることの年度末の姿がどれぐらい見えているか、イメージができてきているのかは、とても大事なことです。点検評価シートの目標の欄は、第一四半期が終わった今の段階ですでに埋まっている状態が理想だと思います。その結果を年度末に空欄を埋めていくことが理想的なペースだとイメージしています。今年何やろうか、というその目標設定が大事だと思います。

## (2) ガラスのうさぎ像平和と友情のつどいについて

(教育総務班長) ガラスのうさぎ像平和と友情のつどいについて資料に基づいて説明。

(岡野委員) ガラスのうさぎをこの先どう継続していくかが、とても重要な問題です。ここ1年やっぱりこういうことの大切さが、重みを増していると思います。6年生と中学生がどういうふうにか、これを見たときに、感じ方が違うのか、中学生が見て感じて、クラスで話し合っている様子を、小学生が見るとか、中学生が何かアクションを起こそうとした場合は、それを小学生のうちから見せておくとか、そういうことが小中一貫教育のメリットの一つにもなっていくと感ずます。それぞれ小学校中学校で、やるのもいいのですが、「その次のアクションにどう生かすのか」という行動力はやっぱり中学生の方が圧倒的に勝っていると思うので、そういう先の姿を特に小学生に見せることができるといいと感ずます。そういう縦の繋がりも作り上げていければと思います。中学生のアクションを小学生が継続していくこと、縦に繋げて語り継いでいくこと、その構造そのものを繋いでいくことができればいいと思うので、その視点も組み入れていただくとありがたいです。3年前までは、小学6年生が参加していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行で中止になり、全員が感想を書いていくという取り組みが変わっていつているわけですが、やはり小中一貫教育の中に取り込んで、異年齢の交流も含めながら、子どもたちへ総合学習や平和教育、社会科、公民などで、他学年の児童も学べるような場面ができればいいと思います。

## (3) その他

### 一 次回教育委員会予定 一

(教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

(渡辺委員) 7月26日の教育講演会第2部ヤングケアラーについて知ろう・必要な支援を考えようでは、全国や二宮町で当事者がどの程度の割合でいるのかといったデータ、課題や実情も講演内容に含まれているのでしょうか。

(指導班長) 詳細はこれから調整することになっています。

(渡辺委員) 最後に質疑応答の予定はされていますか。

(指導班長) 最後に質疑応答を設ける予定です。

(藤原委員) 講師の方に、二宮町の統計情報を入れて話してもらうことは可能でしょうか。講演内容の中に入ることで、講師の方も含めた当事者意識になるのではないかと思います。

(教育総務課長) 二宮町として、そういう調査をしていないこともあり、統計情報を出すことは難しいです。各校に少なからず数人居る実態は、把握しています。学期に1回実施している生活アンケートの中で、家庭の困りごとはありませんか、とオブラートに包んで質問しています。ご家族の介護や家事の手伝いをしていますか、と質問すると、どうしてこんな質問をするのか、家庭内を疑っているのか、と思われる保護者もいるため、難しい調査であることを他の自治体の例から聞いています。二宮町としては、生活アンケートから慎重に進めたいと考えています。

(藤原委員) 実情は分かりました。その実情も含めて、数人把握していることだけでも話していただきたいです。町としても、課題と考えているので講師を招いて講演をすることが伝わるように前振りが合った方がいいと思います。ヤングケアラーについては、言葉自体が独り歩きをしている感じもします。上の子が下の子の面倒をみたりすることは普通にあることですが、それをヤングケアラーだと捉えてしまう可能性もあります。寝る時間を惜しんでも、学業が出来ずに、家事をしなくてはいけないような状況とは、区別する必要があると思います。言葉の定義が固まっていない中ですので、この講演会で、町民の方と考えていこう、という機会だと捉えています。

傍聴者退席

### (3) 二宮育英会奨学生の選考結果等について

(教育総務班長) 二宮育英会奨学生の選考結果等について資料に基づいて説明。

— 非公開 —

11時10分 閉会